

## 1. 世阿弥の思想と「花」の哲学

今季のコレクションは、世阿弥（ぜあみ）の思想に想いを馳せたものです。

世阿弥は、室町時代に京都を拠点とし、将軍・足利義満の庇護を受けながら能楽を洗練させました。父・観阿弥とともに猿楽を発展させ、能を日本独自の高度な舞台芸術として確立しました。

彼の思想は著書『風姿花伝』に詳しく記されており、「花」の概念は能楽だけでなく日本美学全体において重要な影響を与えています。「花」とは、若さがもたらす「時分の花」という一瞬の美から、経験と成熟によって得られる「まことの花」という深みと味わいを指し、この移ろいは時間がもたらす成長の象徴です。

現在の社会では、アンチエイジングや若さへの渴望、老いへの抵抗が注目されがちですが、時間がもたらす真の価値を見つめ直すことも必要です。時が生む深みや知恵、洗練、慈愛といった老いによる「染み」こそが、より深い美しさを生むのではないのでしょうか。若い頃は誰しもが輝いていますが、老いを受け入れることで得られる味わい深い美しさもまた特別です。

このコレクションでは、時の持つ不思議さや面白さ、若さの美しさと老いの深みの両方を見つめ、時間の移ろいがもたらす普遍的な美を現代のデザインに映し出しました。

## 2. ZEAMIコート：侘び寂びを体現する一着

今季のコレクションは、ZEAMIコートから全てが始まりました。このコートはトレンチコートをベースにしなが、日本人の着物のDNAをデザインに取り入れた一着です。星が瞬く夜空のような表情を持ったメルトンウールを基調に、裂き織とジビエレザーを要所に配することで、侘び寂びの美学を現代的に表現しました。裂き織は懐古的な素材としてではなく、人の手の温もりを感じるモダンなテキスタイルとして考えました。ジビエレザーは、「消え去る運命だったものが人の手によって再び蘇り、新たな価値を持つ」という強いメッセージを発しています。これらは、侘び寂びの美学や世阿弥が説いた「花」の哲学と共通する、時の美しさを表しています。

## 3. 時間を超えた価値と世阿弥の「花」の哲学

世阿弥が『風姿花伝』で語った「花」の概念は、芸術の核心をなすものです。それは一時的で儂く、観客に感動を与える力を持ちながら、経験を重ねることで「時分の花」から「まことの花」へと深化します。若さがもたらす新鮮な美しさから、老いが生む深みや味わいへと進化する過程は、時間が素材やデザインに与える影響そのものです。この哲学は、侘び寂びや「Stains of Time」というテーマと深く共鳴しています。時間の経過が素材やデザインに新たな価値を与え、儂さや移ろいの中に宿る深い魅力が、TOKIARIのコレクション全体に息づいています。

#### 4.侘び寂びが語る時の痕跡

25AW「WABI-SABI ~Stains of Time」コレクションは、時間をもたらす美しさを核に、侘び寂びの哲学を現代的に表現しています。その中心には、日本文化のDNAを宿すZEAMIコートがあり、裂き織やジビエレザーに新たな命を吹き込むことで再生の精神を象徴しています。このコレクションを通じ、時間を超えた価値と衣服の本質的な美しさを感じていただければ幸いです。

衣服は、ただ身を包むための道具ではなく、その場面や風景、一緒にいる人々との調和を生む存在です。ファッションの一側面として「流行」や「装飾的」「享乐的」というイメージもありますが、それだけでは語り尽くせない深さが衣服にはあります。

美しい器を選ぶように、静かな目で布の質感やフォルムを愛で、シルエットを味わってほしい。それが、私たちが考える衣服選びの本質です。華美過ぎずとも、確かな存在感を持ち、時に耐える素材とデザインであなただのクローゼットに静かに寄り添い続ける一着を。若い世代だけでなく、経験を重ねてきた大人にこそ響く衣服を。一つひとつに込められた思いと手仕事の美しさを感じながら、時間を超えた価値を楽しんでいただきたいと願っています。